熊日1956.05.18

井戸水からホリドール検出

水俣の奇病

水俣市月浦で接近原因のわからない子供の奇病が続発して問題となっていたが、このほど県衛生研究所が調べた結果、同地区の井戸水から微量のホリドールを検出、これがその原因ではないかとみられるにいたった。

月浦では去る四月に入って[redacted]ちゃん[redacted]ちゃんや[redacted]ちゃんなど六人の子供がそれぞれ手足のマヒ症状を起し、中には脳神経をおかされて脳膜炎の診断を受けた者もあった。部落では十世帯が一つの井戸を共同使用しているところから井戸水に有害物があるのではないかとこのほど衛生研究所に検査を依頼、その結果ホリドールを検出したものだが、これは農薬として使ったものが地下に浸透して井戸水に混入したものとみられており、極微量でもながく飲めば中枢神経をおかされる。

県予防課ではホリドールを使わないこの時分にも微量を検出しているので使用時には相当混入するのではないかとさっそく井戸の施設改善と本格的調査を水俣保健所に指令した。